

歯を健康に保つことの大切さ伝える

平成27年度国民健康保険関係功績者
厚生労働大臣表彰を受賞

田中稔夫さん

タナカ・トシオ 61歳



昭和28年、福岡県北九州市出身。九州大学歯学部卒業。昭和61年5月から現在まで安代診療所の歯科医師として勤務し、歯科保健事業向上の功績が認められ、10月19日に厚生労働大臣表彰を受賞。A型のやぎ座

「大人も子供も口の中の健康に関心を持ち続けてほしい」と願いを語るのは、市国民健康保険安代診療所の田中稔夫歯科医師。

旧・安代町からの人材派遣依頼があり、昭和61年から安代診療所に勤め、今年で29年。歯科保健・医療の向上に寄与したことが認められ、厚生労働大臣表彰を受賞しました。

「子どもの虫歯の数はだいぶ減りました。12歳の虫歯の平均は、昭和61年で約6、7本。今は1本前後です」と、昔との違いを語る田中医師。その理由を伺うと「平成2年から乳幼児歯科検診を始めたことです。ただ、これは地域の歯科医師の皆さんの協力があってこそできた事業でした」と、當時を振り返ります。

子どもの歯の健康に大切



田中医師がお菓子を食べる日を説明する際使用する「ひかちゃんのおやつ日記」

なことを伺うと、「食習慣が大事だと知ってほしいですね。例えば、お菓子を食べる日を選んだり、間食ではなく食後に食べたりすることで、違いが出るんですよ」と、笑顔で語ります。

田中医師は「大人は、歯周病予防に努めてほしい」と語り、「歯周病は、喫煙や生活習慣病との関係も深い。逆に言えば、口の健康が生活習慣病の予防にもつながるので、かかりつけ医を持って、定期的な指導を受けてほしいですね」と、歯科保健の重要性を呼び掛けました。

今月の表紙 大工に挑戦 トントントン

八幡平山賊まつりが10月10日から12日までの3日間、市さくら公園で開かれました。

11日には、八幡平建設職組合がちびっこ大工上棟祭を開催。子どもたちが棟木を木づちで打ち、大工体験を楽しみました。また、関東在住の「八幡平ふるさと会」会員が、バスツアー「八幡平ふるさと紀行」でまつり会場を訪れ、屋台で郷土料理を味わい、会場周辺の紅葉を楽しむなど、古里の秋を満喫しました。



買い物を楽しむふるさと会会員

■編集後記

2年に1度開催されるあしろオリンピック。安代地区民総参加のスポーツの祭典では、どの競技でも皆さん真剣そのもの。かつ、笑顔の絶えないぎやかさと団結力が印象的でした。参加者から、近くで新そば祭りを開催しているとの情報を仕入れたので、終了後、祭り会場にお邪魔し、新そばを堪能。帰路では、紅葉がきれいでした。寄り道。スポーツ・食・行業を楽しめた、お得な秋の一日となりました。

①沙